

諏訪之瀬島

火山活動評価：活発な状況

爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

11月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況(図1、図2)

29～30日に爆発的噴火が5回(10月：1回)発生したほか、小規模な噴火は時々も発生しました。

噴煙の最高高度¹⁾は30日の噴火に伴う600m(10月：1,000m)でした。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落(御岳の南南西約4km)で28～29日に降灰がありました。

・地震、微動の発生状況(図1、図2)

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながら、やや多い状態が続いています。A型地震は7回(10月：なし)、B型地震は334回(10月：221回)でした。また、火山性微動は248回(10月：60回)発生しました。その出現時間は、83時間47分(10月：89時間49分)で、2日、14日、16～18日、28～30日には継続時間が1時間を超える火山性連続微動が発生しました。

噴火警報、噴火予報の発表状況(12月6日現在)

気象庁は平成19年12月1日より、噴火警報及び噴火予報の発表と、噴火警戒レベル運用を開始しました。それに伴い、12月1日に諏訪之瀬島に以下のような火口周辺警報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁のホームページを参照ください。

・活動状況及び予報警報事項：噴火警戒レベル2(火口周辺規制)

火山活動は、これまでと変わらず、火口から半径1km程度に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

諏訪之瀬島の噴火予報・警報は、火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)です。

1) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

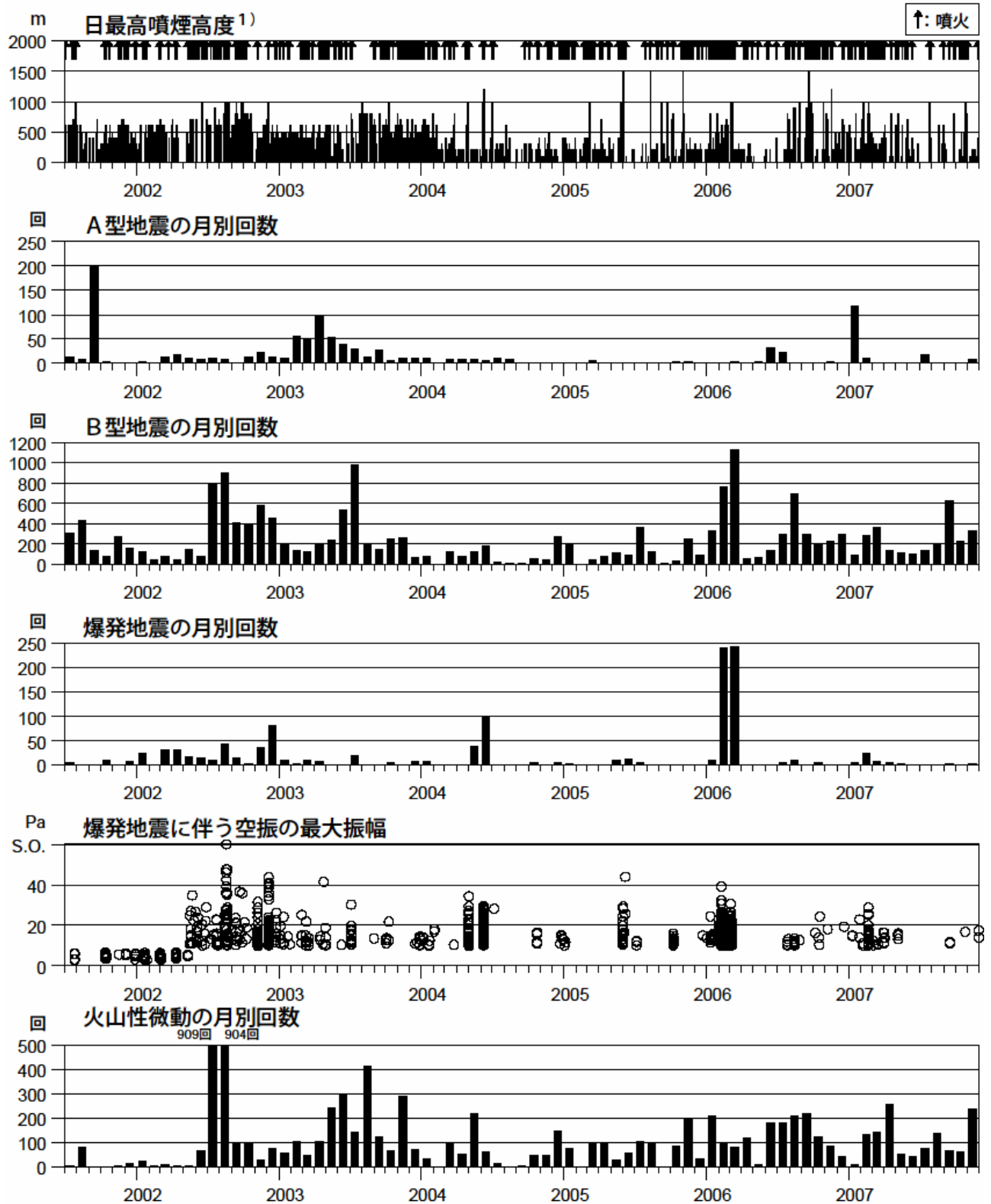


図1 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001年7月～2007年11月)

- ・噴火は1～2日、28～30日に発生しました。爆発的噴火は29日に2回、30日に3回発生しました。
- ・噴煙の最高高度¹⁾は30日の噴火に伴う600mでした。
- ・A型地震は7回、B型地震は334回でした。
- ・火山性微動は248回でした。

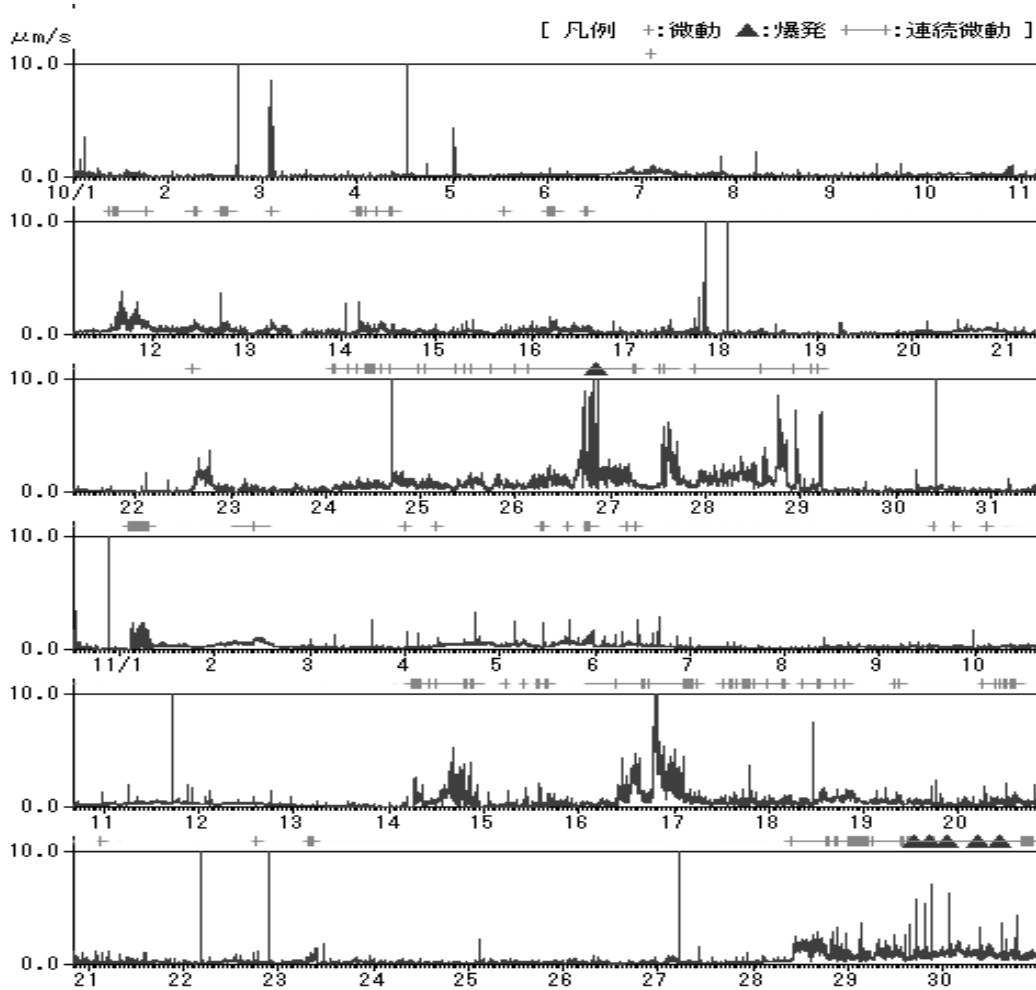


図2 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化 (SWA1 上下成分)

(2007年10月1日~11月30日)

- ・爆発的噴火は29日に2回、30日に3回発生しました。
- ・火山性連続微動は、2日、14日、16~18日、28~30日に発生しました。

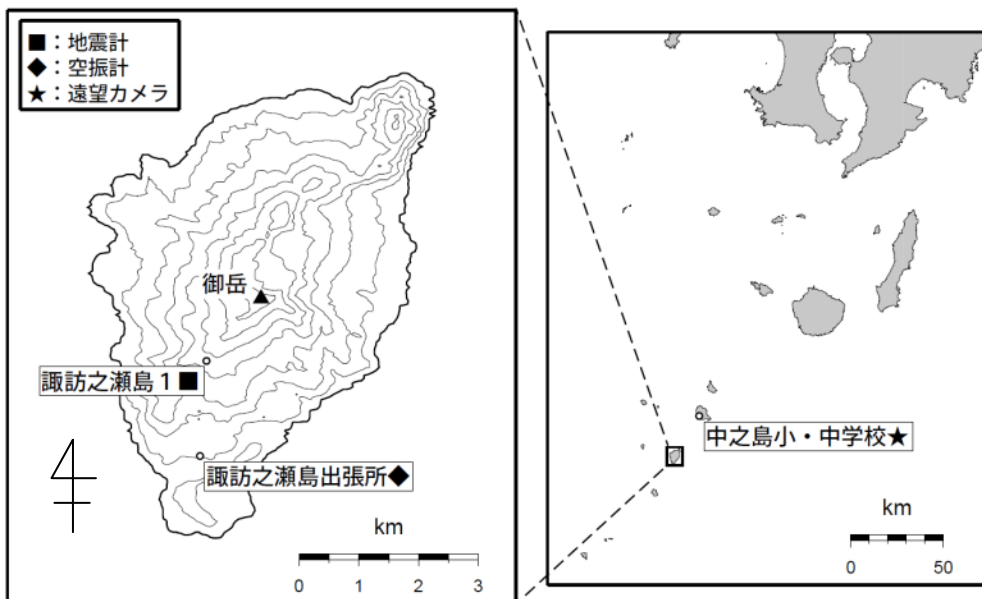


図3 諏訪之瀬島 観測点配置図